

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催

第8回 Documentary Linguistics Workshop (DocLing2015) 募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所(AA研)は、2007年度からロンドン大学SOASのHans Rausing Endangered Languages Projectと連携し、Documentary Linguistics Workshop(DocLing)を開催しています。このたび、2015年2月に開催する第8回のワークショップの受講生を下記の要領で募集します。なお、このワークショップは文部科学省特別経費による「言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開(略称:LingDy2)」の事業の一つとして開催されるものです。

記

1. 開催期間 平成27年2月17日(火)～2月23日(月)(ただし、2月22日(日)は休み)

2. プログラム 危機言語および少数言語の記録・保存(ドキュメンテーション、アーカイビング)に焦点をあてたワークショップです。言語ドキュメンテーションとはどのようなものか、言語データのアーカイビングとはどのようなものか、録音の方法論とノウハウ、写真の撮影方法、メタデータとメタドキュメンテーション、フィールド調査にかかわる諸問題等の内容を扱う予定です。プログラムの詳細は、追って下記ウェブページに掲載します:

<http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling/2015.html>

講師:Peter Austin (SOAS, University of London),

David Nathan (EWA, University of Oxford),

Anthony Jukes (CRLD, La Trobe University),

Sonja Riesberg (University of Cologne),

澤田英夫 (AA研) ほか

使用言語:ワークショップはすべて英語で行われます。通訳はありません。

3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
(東京都府中市朝日町3-11-1)

4. 応募資格 フィールドでの言語調査や言語の記録・保存を行なっている、あるいはこれから行なおうとしている学生(原則として博士前期課程以上)および研究者

5. 選考方法 応募者多数の場合は、8.の応募フォームをもとに選考します。
6. 募集人員 10 名前後
7. 参加費 受講料は無料ですが、別途教科書を購入していただく場合があります。また茶菓代として 500 円いただきます。
8. 応募方法 <http://lingdy.aacore.jp/jp/activity/docling/2015.html>から応募フォームをダウンロードして記入の上、下記あてに Email で送付してください。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
共同研究拠点係 DocLing2015 担当
Email address: docling-appl@tufs.ac.jp
※件名を「DocLing2015 応募書類」としてください。

9. 応募締切 平成 26 年 11 月 21 日(金) 日本時間正午(必着)
ご応募いただいた場合、一両日中にこちらから返信いたします。メール不着などの事例がありますので、三日以内にこちらからの返信がない場合は、お手数ですが再度ご連絡願います。
10. 選考決定 受講の可否は、平成 26 年 12 月中旬に本人あてに通知します。
11. その他 ①ワークショップ開催期間中の宿泊場所は、受講者各自で手配してください。
(お問い合わせいただければ近隣のホテルをご紹介します。)
②旅費は支給されません。
12. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
言語の動態と多様性に関する国際研究ネットワークの新展開 (LingDy2)
事務局
Email: lingdy-office@aacore.net
Tel: 042-330-5543

* 過去のワークショップで扱った内容の詳細は、次の URL をご覧ください。
Web ページ: <http://lingdy.aacore.jp/jp/annual-report/docling-2.html>